

映画のポスター



爆弾三勇士



愛染かつら



ローマの休日



大魔神



男はつらいよ



千夜一夜物語



女は夜の匂い



女よ男を殺せ



続青い山脈



理由なき反抗



嵐を呼ぶ男



釣りバカ日誌3



シマシマシマ (昭和後期)



酒田館 (日活酒田劇場の前身・大正期)



酒田港座劇場 (平成14年1月開館)



港座 (大正初期)



シマシマシマ (昭和30年代)



グリーンハウス (昭和50年頃)



中央座 (昭和29年)



大正館 (中央座の前身・大正初期)

写真で見える酒田の映画館

第140回 企画展示

酒田と映画の世界

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL 0234-24-6544

開催期日
平成18年2月23日(木)~4月23日(日)

開館時間
午前9時~午後4時30分

休館日
3月までは月曜日休館、4月以降無休

入館料
大人/100円 児童・生徒・学生/50円(小・中学生は土日無料)



開催にあたって

酒田に活動写真が入ったのは明治43年頃で、当時、東北でも有数の芝居小屋であった港座で上映されています。

無声映画に代わるトーキー映画が上映されたのは昭和2年のことで、当時、港座や中央座・酒田劇場は大賑わいでした。戦後、洋画専門のグリーンハウスが創設され、昭和29年には、シバタ劇場が映画館として開館しました。

今回の企画展では、酒田の映画館の移り変わりを見ながら、酒田で上映された映画のポスターや、戦後、酒田の映画館で作られたチラシなどを展示します。

また、酒田で行われた映画のロケ風景の写真など、酒田と映画とのかかわりを写真やパネルで紹介していきます。

今回の企画展の開催にあたっては、多くの方々から資料提供をいただいたことに感謝申し上げます。

資料提供者 (敬称略)

阿部剛、金森和子、齋藤愛子、佐藤美代子、須藤良弘、高橋小夜子、高橋正人、長南寿一、福永弘明、渡部光治郎、山形県立博物館教育資料館、鶴岡市郷土資料館、光丘文庫、コミュニティ新聞社、宮崎合名会社、朝日新聞社酒田通信局、JA全農庄内本部



大井哲氏 (山形市) 製作



後藤孝四郎氏 (鶴岡市) 製作



菊地勲氏 (鶴岡市) 製作



峯田忠雄氏 (寒河江市) 製作



土屋悟氏 (酒田市) 製作



佐藤菊雄氏 (新庄市) 製作

時代劇映画祭看板展応募作品 (平成16年 於鶴岡市) 映画看板保管:ヒサオ看板

映画「氷壁」ロケ風景写真



映写機

- 16ミリ ナトコ映写機
- 35ミリ 劇場用映写機
- 16ミリ映写機
- 8ミリ映写機

●パンフレット●

映画花形大写真帳
名優名人花形大写真帳
映画レビュー夏姿写真帳

風と共に去りぬ
グレンジャー物語

旅情
地下室のメロデー
天井橋の女々々

男はつらいよ
天城越え

生きる

●チラシ●

太平洋爆撃隊

三大松竹映画
予告チラシ

シネマ通信
TOY STORY

映画案内
シネマ案内

●チケット●

青春の門

グリース

ロミオとジュリエット

あいつと私 エデンの海

おしん